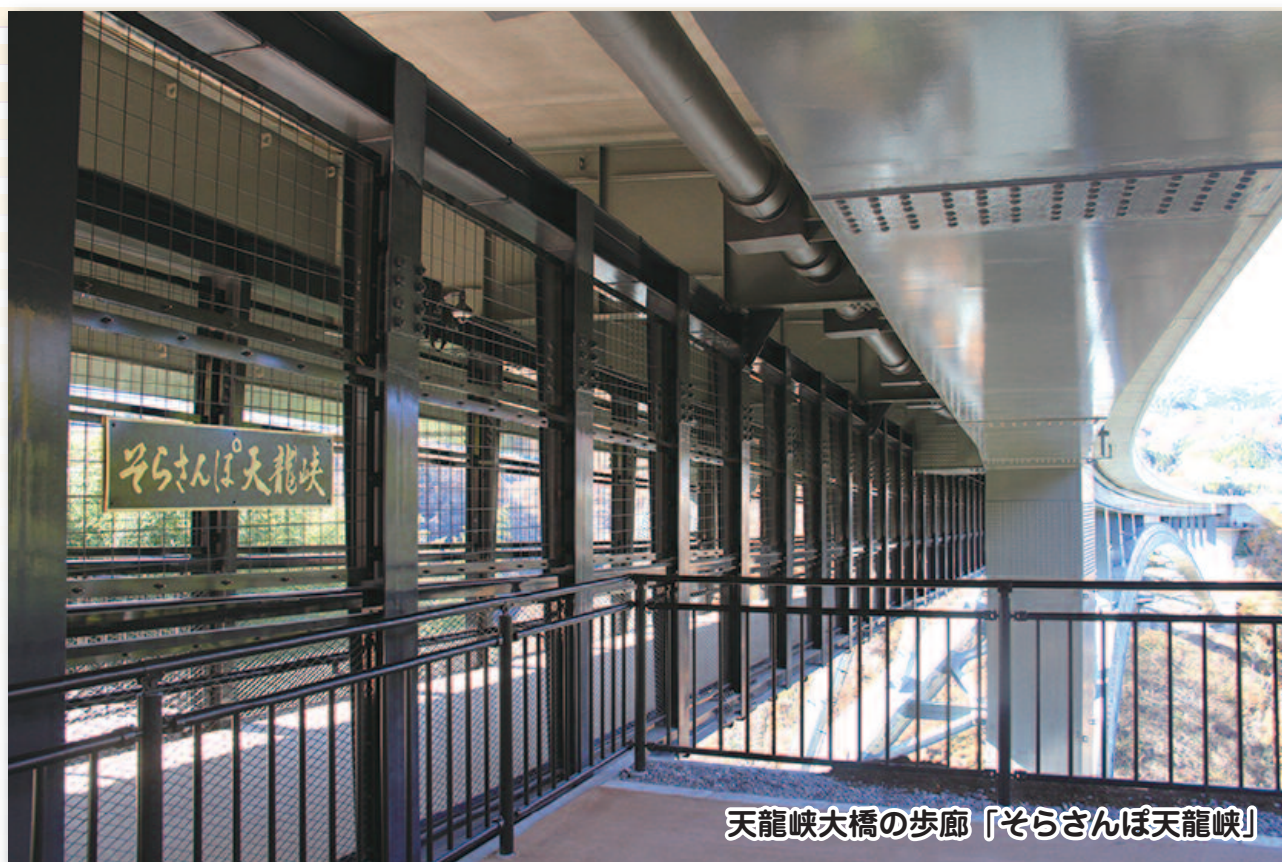




天龍峡大橋の歩廊「そらさんぽ天龍峡」

目次

●年頭所感	2
●笑顔あふれる新病棟へのお引っ越し	3
●ねっとわーく 医療法人 龍川会 西澤病院 かかりつけ医を持ちましょう	4 5
●インフルエンザと異常行動	4~5
●冬期感染症流行時期の面会禁止のお知らせ	5
●がん相談支援センターからのお知らせ	6
●話題の広場 勤労者まつりに参加 DMAT活動報告	7
●第8回飯田市立病院市民医療フォーラム	7
●レントゲン博士の独り言 胸部X線検査について	8
●職場紹介 訪問リハビリテーション	8
●形成外科・美容外来からのご案内	8
●患者様の声	8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

年頭所感



飯田市立病院 院長
堀 米 直 人

あけましておめでとうございます。皆さまには令和となって初めて迎えられる新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、日本のいたるところで災害が発生し、特に台風19号は長野県北部に深い爪痕を残しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げ、1日も早く日常が回復されますことをお祈り申し上げます。当院でもDMATを派遣して患者さんの避難搬送等に従事しました。当院は飯田下伊那地域の災害拠点病院として、非常用電源設備を備え水や食料の備蓄をし、防災訓練を行なうなどの準備を行なってきましたが、改めて、災害に対する準備の重要性を感じました。

国は、今後の少子高齢化・人口減少社会に対し、人生100年時代に対応した全世代型社会保障制度の構築として、医療政策においては地域医療構想、働き方改革、医師偏在対策を三位一体改革として進めようとしています。当地域はこれまでも、少ない医師数の中でも地域内の医療機関が協力して地域医療を守る取組みをしてきました。今後とも、地域内の医療機関や介護施設などとの地域連携を深める中で、当院の役割である高度急性期や急性期医療を中心に、より質の高い医療を提供し続けられるよう取組んでいきたいと考えています。

その一つとして、臨床検査科が県内初となるISO15189認定を取得し、当院の臨床検査能力を外部から認めていただくことができました。現在行なっている病棟の改修工事、患者さんの治療環境の改善を目指しているものです。半分の病棟が完了し、あと1年余りで全病棟が明るく快適な病棟になります。工事中はご迷惑をお掛けしますがご理解をよろしくお願いいたします。

がん診療の充実も行なっています。更新したPET-CT（がんの検査装置）、新たに導入した放射線治療装置は順調に稼働し、がん医療の上で大いに活用されています。

救急医療では、2次救急（救急車対応）は地域内の医療機関と輪番体制をとり、3次救急（重症者対応）は365日24時間対応を行なっており、当院の救急搬送者数は年々増加しています。

周産期医療は、里帰り出産を含め当地域の分娩はほぼ当院が担っています。昨年地域の医療機関と連携型周産期システムを導入し妊婦健診や産後ケアの充実に取り組んでいます。また院内助産もスタートし、助産師ならではのケアの充実を図っています。

病院の基本理念である「地域の皆さんの健康を支え、信頼される医療を実践する」に向かって今年も職員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

5階西病棟が3階西病棟へ移転しました



今回の引っ越しは、階を跨いだため、エレベーターを使用しての移動となりましたが、36名の入院患者さん全員が、安全に速やかに移動することができました。

3階西病棟は、消化器外科・呼吸器外科・呼吸器内科の病棟です。

手術後、痛みを伴いながらも、早期離床を目指す患者さんや、呼吸器疾患により酸素を使用して、リハビリする患者さんが多く入院されています。

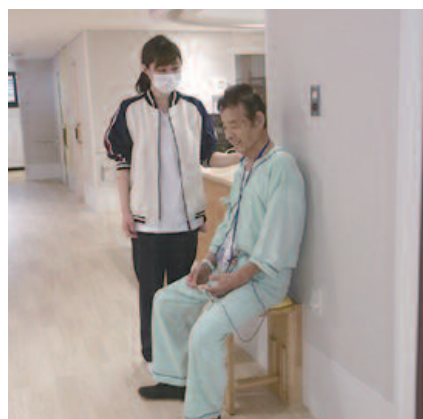
新病棟は、リハビリの途中に少し休憩ができるように、廊下に作り付けの小さい椅子を、また、処置を速やかにおこなえるように、ナースステーションの前に処置室を設置しました。

設計上大きく変更することはできませんでしたが、患者さんにとって安全で、スタッフが少しでも働きやすい環境をと、4ヶ月かけて、検討に検討を重ねて作り上げてきました。

病棟をリニューアルする度に、その部署の特徴が盛り込まれ、新しい環境は患者さんやスタッフの笑顔を生み、新たな気持ちで働くことができます。



ゆったりとしたスペースを確保し、床はクッションフロアとし安全性を考慮しました。



作り付けの小さい椅子で休憩中



医療法人 龍川会 西澤病院

(飯田市本町)



飯伊地方における産婦人科診療の草分け

西澤病院 院長 西澤 良斉

西澤家は江戸時代には薬種を扱う漢方医でした。その歴史は260年以上前にさかのぼります。

しかし明治28年には従来の漢方医学から西洋医学に転向して医院を開業。当時、お産婆さんによる出産が一般的であった飯伊地方では珍しい産婦人科を専門としました。以来長年にわたり、産婦人科診療を続けてまいりました。残念ながら現在、出産の取り扱いには行っておりませんが、多くの産婦人科専門医による診療体制を整えており、飯田市立病院を始めとする地域のお産に関わる先生達と連携し、妊産婦検診など出産に至るまでの外来管理・治療を行って、少しでもこの地域で安心して出産ができるよう

なお手伝いを今後も続けていきたいと考えています。

また特に不妊症外来にも力を入れており、専任の胚培養士による顕微授精など専門的な不妊治療も行っています。

もうひとつ柱としているのは、老人介護分野における医療貢献です。西澤病院においては現在111床の介護療養型病床を有しておりますが、急激に高齢化率の増加している飯田下伊那地域において、特に脳血管障害や神経難病、癌の終末期などにより重度の介護が必要となった高齢者の皆さまに対する医療サポートは、当院の重視しているところです。

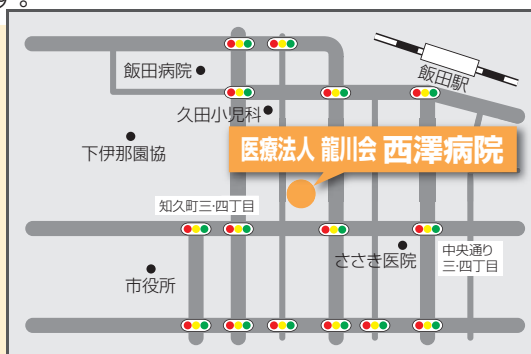
今後も、患者様お一人ひとりにきめ細かく対応して、安心していただける医療を通じて地域に貢献し、皆様に信頼される医療機関を目指していきます。



西澤先生(前列中央左)とスタッフの皆様



所在地	〒395-0044 飯田市本町4-5 ☎0265-24-3800
診療科目	内科、産婦人科
診療時間	内科 8:30~12:00 (木曜日のみ8:30~12:00/14:00~17:30) 産婦人科 9:00~12:00/14:00~17:30 (火曜日午前は完全予約制、土曜日は午前のみ)
休診日	日曜日・祝日
駐車場	あり



インフルエンザと異常行動

インフルエンザの患者さんでは抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。異常行動は、就学以降の小児・未成年者で報告が多く発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。

異常行動の例として、突然立ち上がって部屋から出ようとする、興奮して窓を開けてベランダに出て飛び

降りようとする、泣きながら部屋の中を動きまわるなどの行動が見られます。

万が一の転落等の事故を防止するため、発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、ベランダに面していない部屋で寝かせる、一戸建ての住まいの場合はできる限り1階で寝かせるなど対策や様子を観察するなどの注意が必要です。

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

●かかりつけ医を持ちましょう

健康に関することを何でも相談できる

身近にいて頼りになる

Q かかりつけ医って？

A 日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。いざという時に困らないためにも、健康診断などに行く機会を利用して、自宅や職場の近くにかかりつけ医を見つけておきましょう。



Q なぜかかりつけ医を持つ？

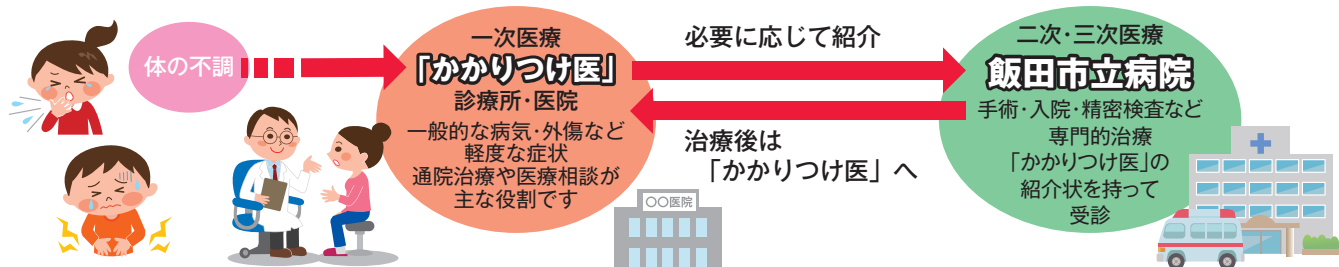
A かかりつけ医を持つことで、どのようなメリットがあるのでしょうか。日頃のみなさんの健康状態を知っていて、気軽に何でも相談できるかかりつけ医がいれば、体調などに関して何でも相談できるので、必要なら医療面で早めの対策がとれますし、専門家を的確に紹介できます。かかりつけ医がない場合、一般の方々が自己判断で受診を手控えたり、延期したり、あるいは、間違った対応策をとっているうちに重症化してしまうといったことが起こることがありますが、それも防ぐことができます。

(出典：日本医師会)

飯田市立病院では、昨年10月下旬より、かかりつけ医紹介窓口を設置しました。平日の午前8時30分から午後5時15分まで、1階中央受付横の1番の窓口にて開設しております。患者さんと一緒にかかりつけ医を選定いたします。お気軽にご相談にお立ち寄りください。

●飯田市立病院の機能・役割

当院は、救命救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、入院医療を中心とした医療提供体制を敷いています。



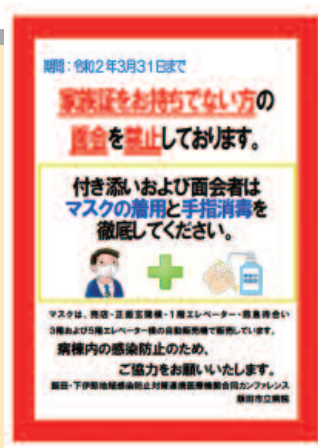
地域の中の医療資源は限られています。地域医療を守っていくために、住民の皆さんには、各医療機関の役割を理解していただき、適切な医療機関を受診していただきますようご協力をお願いします。

冬期感染症流行時期の面会禁止のお知らせ

令和2年1月6日(月)～令和2年3月31日(火)までの間「家族証をお持ちでない方の面会を禁止」しております。

尚、地域の感染症流行状況によっては面会禁止期間が延長される場合がございます。

ご理解とご協力をお願い致します。



がん相談支援センターからのお知らせ

◆緩和ケアサロンをご活用ください

がんと告知を受けたり、診断されるとインターネットを検索される方も多いでしょう。がんに関する情報はあふれており、個人の限られた体験だったり、間違っただけの情報もあります。多くの情報に振り回されず、信頼できる確かな情報を集めて頂けるように、当院では『緩和ケアサロン』を設置しています。サロンには、国立がん研究センターの冊子等を配置しています。ご希望の冊子が不足している場合は、がん相談支援センターの職員にお声かけください。

場 所 130 がん診療・緩和ケアセンター内

開放時間 平日の8:30~17:00



◆11月6日(水) がんサロン結を開催しました

- 当日のがんサロン結は医療スタッフの講座ではなく、当日参加された皆さんで『お話ししよう♪』の会を行いました。ご自身のがんの種類、どのような治療をされている(いた)か、治療の副作用や今の体調や症状で困っていること、逆に楽しんでいること等々。何度も手術を経験されていたり、長年治療を継続しがんと共に生きていらっしゃる方もいます。がんサロンに参加し、周りの方のご意見を聞いて、治療に向き合えた方もいます。医療スタッフと話をすることは勿論重要ですが、がんサバイバー(がんを診断された方、治療されている方全て)の方々とお話するだけでも気持ちが楽になりますよ。

●「ヘルプマーク」をご存知ですか？

がんサロン結の中で話題になった「ヘルプマーク」。紹介された方はいつもカバンに付けています。まだまだご存知ない方も多いでしょう。

例えば…義足や人工関節、難病、妊娠初期、がんで治療中の方等、外見から分らなくても援助や配慮が必要な方々が、そのことを周りの方へ知らせるマークです。

「ヘルプマーク」は、各市町村福祉担当窓口や県現地機関(保健福祉事務所等)で配布、または長野県のホームページからダウンロードすることもできます。上手に活用し、着けている方がいたらお声をかけたり、災害時に配慮する等、気かけられるきっかけになると良いです。



◇今後のがんサロン結の予定

- 2月5日(水) 14~16時 「自分でできる気持ちのケア」 臨床心理士
 - 3月4日(水) 14~16時 「家庭でできるエクササイズ」 作業療法士
- ※場所：いずれも緩和ケアサロン

◇がんに関することはお気軽にご相談ください

飯田市立病院 がん相談支援センター

相談対応時間 平日8:30~17:15

直通電話 0265-21-2010



勤労者まつりに参加、 糖尿病予防啓発を行いました

11/23

11月23日に飯田勤労者福祉センターを会場に「第22回勤労者まつり」が開催され、当院含め飯伊地域の8医療機関で構成する飯伊糖尿病連絡会が、糖尿病予防啓発を行いました。

この活動には例年、飯田下伊那臨床検査技師会と飯田下伊那歯科医師会にご協力いただいております。特に飯田下伊那歯科医師会は今年で3回目の参加であり、糖尿病と関連の深い歯周病の予防啓発を行いました。

『1日に必要な野菜の量をはかってみよう』というコーナーでは、緑黄色野菜、淡色野菜をそれぞれ実際に容器に取って計ってみる体験ができ、1日に必要な野菜の量を体感していただきました。その隣では、計ったばかりの野菜の量を参考にして、管理栄養士による栄養相談が行われました。

また、連絡会構成病院の看護師による血圧測定、飯田下伊那臨床検査技師会による血糖測定も行われており、その数値を基に医療相談コーナーで直接、医師に相談することができました。今年も天候に恵まれ、前年よりさらに多くの来場者でにぎわい、当コーナーも好評でした。



血糖値をチェックしましょう



食事で心がけることは？

飯伊糖尿病連絡会

飯田病院・輝山会記念病院・下伊那厚生病院・健和会病院
県立阿南病院・下伊那赤十字病院
まるやまファミリークリニック・飯田市立病院

DMAT活動報告

飯田市立病院は、台風19号による千曲川流域の氾濫水害に対して、長野県の要請に基づき災害派遣医療チーム(DMAT)5チーム(医師4名、看護師5名、業務調整員7名 計16名)を派遣しました。(過去最大規模)派遣された隊員は、長野県庁・長野赤十字病院で医療活動の指揮を執るとともに、長野市周辺の水没した医療機関・高齢者施設の患者さんや入居者避難を実施しました。

水没した施設では、電気・水・ガスなどの供給が止まり、医療やサービスの提供が困難となったため、392名の方が避難対象となりました。各地から参集したDMATは、近隣の病院・施設の最大限の協力を得て、自衛隊などと協力して、ドクターカーや救急車で安全に患者の搬送を行いました。

今回のような水害はこの地域でも発生する可能性があります。飯田市立病院は飯田下伊那地域唯一の災害拠点病院として、この災害活動の教訓を生かし、災害対応や連携を継続して強化していきます。

地域がん診療連携拠点病院事業

第8回飯田市立病院市民医療フォーラム

日時 3月7日(土) 14:00開演
(開場13:00 終了予定16:00)

会場 講義室

申込 不要・入場無料

テーマ 「飯田市立病院のがん診療」

第1部 「飯田市立病院の胃がん・大腸がんの内視鏡治療」 ▷14:05~15:20

座長 副院長 中村喜行医師

講師 ●胃がん

内視鏡センター長 高橋俊晴医師

●大腸がん

内視鏡副センター長 菅沼孝紀医師

第2部 「ピロリ菌の検査・薬について」

▷15:30~16:00

座長 内視鏡センター長 高橋俊晴医師

講師 検査：臨床検査科 中平直樹技師

薬剤：薬剤科 杉本恵実技師



胸部X線検査について



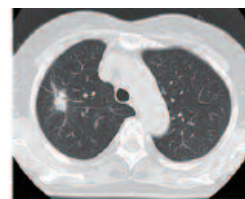
市の検診や人間ドックで胸部のX線検査を受けられたことがあると思います。被曝（ひばく）も少なく

簡単で、比較的身近な検査であり、多くの方が受けられていて定期的に胸部全体を観察するために適切な検査です。

しかし、胸部X線検査が普及しているにも関わらず肺癌による死亡者数は、男性が第1位、女性は第2位となっています。胸部X線検査による肺癌検診では、小さな腫瘍や、骨に重なってしまう腫瘍は見落とししてしまう可能性があります。小さな病変を見つけるためにはCT検査が有用です。CTによる肺癌検診では肺癌を早期発見することができ、早期治療により生存率が向上します。CTの被曝は胸部X線検査より増えますが、最近のCT装置では胸部X線検査の2回分程度の被曝量で撮影する事も可能になっています。このように肺癌検診に関わらず、CT検査は精度の高い検査といえます。【放射線技術科】



胸部レントゲン



胸部CT

シリーズ ● 職場紹介 ● その63

【訪問リハビリテーションの紹介】

私たち訪問リハビリテーション部門は、在宅ケアステーションを拠点として、主に飯田市内（南信濃・上村地区を除く）への訪問リハビリテーション業務に従事しています。スタッフ数は理学療法士4名と言語聴覚療法士1名の合計5名（うち1名は兼務）であり、難病、終末期などの患者さんが多い中、個々の住宅・生活環境に合わせ、患者さん本来の強みを発揮できるための最適な介入ができるよう日々研鑽を重ねています。また医療・介護・保健、福祉機関と密接に連携を進めるため、近年では飯田下伊那診療情報連携システム(ism-Link)も積極的に活用し、当院退院患者さんに対して切れ目のないリハビリテーションを提供するために、院内外のスタッフとの連携を強化しています。診療報酬、介護報酬の改定なども合わせ、日々変わっていく在宅におけるリハビリテーションへのニーズを把握し、柔軟に対応できるよう努めて参ります。今後ともよろしくお願い致します。



形成外科・美容外来からのご案内

2020年1月から形成外科美容外来を開設しました。

CO₂レーザーによるほくろ除去、しみの医学的治療、ケミカルピーリング、医療用ピアス穴開けなどの美容医療を行います。

これらの治療には健康保険は適用されず、全て自費診療になります。診療日は毎週火曜日・金曜日の14時～17時の完全予約制となりますので、平日14時～16時の間に美容外来へお問い合わせください。

患者様の声

当院のご意見箱に頂戴した内容をご紹介します

私はもうすぐ退院です。30日間入院しました。

立派な先生やスタッフのおかげで元気になりました。看護師さんも寄り添う感じで接してくださってありがたかったです。放射線の先生スタッフの皆さんも感じが良くて1か月の治療もあっという間に過ぎました。食事もよかったです。特にうどん、カレー、すしは美味しかったです。

感謝です。ありがとうございました。
部屋もトイレもピカピカでとても清潔で気持ち良かったです。

～皆様からのご意見を真摯に受け止め改善に努めます～

あ と が き

令和元年の幕開けと共に10年前に購入した自転車を引っ張り出し、自転車通勤をすることを決意しました。自動車での通勤とは異なり、自然豊かな飯田市の四季折々と変化する風景を目と肌で感じる事ができ、今まで気づかなかった発見があります。お正月で太った？身体にムチ打ってこれらかも自転車通勤を続けたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。
編集委員 岩下和広